

平成22年度予算のポイント

1. 国の制度改正に伴うもの

子ども手当の創設	2,651,463 千円
中学校修了までの児童を対象に一人につき月額13,000円を支給	
児童扶養手当の父子家庭への支給	1,137,004 千円（うち拡大分19,248千円）
父子家庭に対しても手当を支給（対象者（見込）170人）	
幼稚園就園奨励費補助の拡大	145,867 千円（うち拡大分 7,273千円）
低所得者への給付に重点化	
自立支援給付利用者負担軽減	1,771,690 千円（うち拡大分22,484千円）
低所得者（市民税非課税世帯）の障害者自立支援サービスの利用者負担を無料化	
重度心身障害者医療給付の拡大	335,726 千円（うち拡大分 8,160千円）
重度肝機能障害者への身体障害者手帳の交付とそれに併せた医療給付の拡大	
南商業高等学校授業料の実質無償化	71,280 千円
国の公立高校授業料無償化施策により授業料を不徴収とするもの	

2. 主な継続事業

（1）地域経済・雇用への配慮

緊急雇用・ふるさと雇用事業	219,632 千円
事業主都合による離職者等に対する一時的なつなぎの雇用機会を創出	
地域の実情や創意工夫に基づく求職者の雇用機会を創出するため、平成21年度からの取組を継続	
公共事業3ヵ年プランの拡充	1,576,085 千円（一部3月補正）
当初の3年総額30億円の計画を37億円に拡大して実施	
3月補正での繰越明許費、債務負担行為の設定による発注の前倒し	

（2）防災関係

防災無線のデジタル化	252,870 千円（一部3月補正）
防災無線をデジタル化するとともに、J-ALERTと連動した、小中学校等への緊急地震速報伝達体制を整備	
防火水槽・緊急貯水槽整備	100,201 千円
新豊成小学校用地内に防火水槽及び緊急貯水槽を整備	

（3）観光振興

観光交流拠点施設整備	38,840 千円（債務負担行為変更）
帯広・十勝の産業や食文化の振興、交流人口の拡大を目指し整備	

（4）義務教育施設整備

豊成小学校移転改築	1,211,626 千円（一部3月補正）
平成24年4月の移転開校に向け、校舎建設に着手するとともに用地を買い戻し	
翔陽中学校開校に向けた整備	581,965 千円（一部3月補正）
平成23年4月の開校に向け、校舎の耐震補強及び増築、体育館の改修を実施	